

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アドテック

コード番号 6840 URL <http://www.adtec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小野 鉄平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 五十嵐 英

TEL 03-5427-6901

四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,216	199.8	4	—	14	—	7	—
26年3月期第1四半期	405	—	△19	—	△20	—	△20	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 7百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △21百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	0.90	—
26年3月期第1四半期	△2.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	1,670	999	59.8	118.28
26年3月期	1,665	991	59.5	117.38

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 999百万円 26年3月期 991百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,120	111.4	10	—	14	—	3	—	0.35
通期	3,892	19.7	52	395.2	57	270.9	17	228.4	2.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	8,448,484 株	26年3月期	8,448,484 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	300 株	26年3月期	300 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	8,448,484 株	26年3月期1Q	8,448,484 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は完了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、4月の消費税増税に伴う駆け込み需要の反動により、消費の落ち込みは見られたものの、雇用環境等の改善に伴い、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。しかしながら、原油価格の上昇や欧州の情勢など、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループは、主力製品であるメモリ製品の販売においては、Windows XPパソコンの買い替えに関わる需要が4、5月は引き続き継続しており、売上高は当初の想定を上回って堅調に推移しております。

こうした状況の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,216百万円(前年同期比199.8%増)、営業利益は4百万円(前年同期は19百万円の営業損失)、経常利益は14百万円(前年同期は20百万円の経常損失)、四半期純利益は7百万円(前年同期は20百万円の当期純損失)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

当社グループは平成25年3月期までは「メモリ製品製造販売事業」のみの単一セグメントでありましたが、前第1四半期連結会計期間に当社100%出資で株式会社エッジクルーを設立し連結対象にしたことに伴い「ハードウェアインテグレーション事業」「ウェブソリューション事業」を新たに報告セグメントに追加いたしました。

前第2四半期連結会計期間において、「ハードウェアインテグレーション事業」と「ウェブソリューション事業」を一体化しての事業展開および社内管理に変更したことにより、報告セグメントも同様に一体化することとし、前第2四半期連結会計期間では、「ウェブソリューション事業」として統合し、「メモリ製品製造販売事業」「ウェブソリューション事業」の二つの報告セグメントといたしました。

また、前第3四半期連結会計期間に株式会社ティームエンタテインメントを買収いたしました。これに伴い、前第3四半期連結会計期間以降は、「メモリ製品製造販売事業」「ウェブソリューション事業」「コンテンツ事業」の三つの報告セグメントとしております。

①メモリ製品製造販売事業

メモリ製品製造販売事業は、Windows XPパソコンの買い替えに関わる需要が引き続き継続しており、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,088百万円(前年同期比169.3%増)、営業利益は4百万円(前年同期は16百万円の営業損失)となりました。

②ウェブソリューション事業

ウェブソリューション事業は、引き続き既存顧客からの受託案件の開発に注力した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6百万円(前年同期比262.2%増)、営業損失は前年同期とほぼ同額の3百万円となりました。

なお、前第2四半期連結会計期間において、「ハードウェアインテグレーション事業」と「ウェブソリューション事業」を一体化しての事業展開及び社内管理に変更したことにより、報告セグメントも同様に一体化したため、前年同期の数字は両事業の数字を合算しております。

③コンテンツ事業

コンテンツ事業は、ライブイベント等の販促活動に注力した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は122百万円、営業利益3百万円となりました。

なお、コンテンツ事業は前第3四半期連結会計期間に追加したため、前期比較はありません。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は1,405百万円となり、前連結会計年度末1,386百万円と比べ19百万円増加いたしました。

主な増減要因は、現金及び預金の増加31百万円、及び仕掛品の減少10百万円、原材料の減少18百万円であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は265百万円となり、前連結会計年度末279百万円と比べ14百万円減少いたしました。

主な増減内訳は、のれんの償却による減少12百万円であります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末とほぼ同額の、586百万円となりました。

主な増減内訳は、買掛金の減少108百万円、短期借入金の増加100百万円であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は84百万円となり、前連結会計年度末87百万円と比べ3百万円減少いたしました。

主な増減内訳は、長期借入金の減少2百万円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は999百万円となり、前連結会計年度末991百万円と比べ7百万円増加いたしました。

主な増減内訳は、利益剰余金の増加7百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月15日に発表いたしました平成27年3月期第2四半期(累計)の連結及び個別業績予想数値に關しまして、第1四半期連結会計期間において、メモリ製品製造販売事業がWindows XPのサポート終了に伴うPCの切り替え需要を受けて、前期に引き続き好調に推移したことから、第2四半期(累計)の連結及び個別の業績予想を修正いたしました。

なお、通期業績予想につきましては、原油価格の上昇や欧州情勢等、景気の先行きには不透明な状況が多く、また、PC需要の通減も予想されることから、従来発表しているものから変更はございません。

詳細につきましては、本日(平成26年8月8日)別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基準として合理的な方法により算出する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	519,323	550,802
受取手形及び売掛金	535,612	541,972
商品及び製品	166,266	174,216
仕掛品	37,090	26,556
原材料	91,525	73,461
その他	39,127	41,045
貸倒引当金	△2,939	△3,034
流動資産合計	1,386,007	1,405,020
固定資産		
有形固定資産	14,480	13,108
無形固定資産		
のれん	228,561	216,069
その他	3,912	3,782
無形固定資産合計	232,473	219,852
投資その他の資産		
その他	96,587	96,458
貸倒引当金	△64,193	△64,146
投資その他の資産合計	32,394	32,311
固定資産合計	279,347	265,271
資産合計	1,665,355	1,670,292
負債の部		
流動負債		
買掛金	278,398	170,312
短期借入金	250,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	8,004	8,004
未払法人税等	6,081	9,007
賞与引当金	5,197	2,218
返品調整引当金	13,569	13,351
その他	25,257	33,572
流動負債合計	586,508	586,466
固定負債		
長期借入金	47,317	45,316
退職給付に係る負債	15,871	16,562
資産除去債務	2,892	2,906
その他	21,055	19,750
固定負債合計	87,137	84,535
負債合計	673,645	671,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,000	700,000
資本剰余金	297,735	297,735
利益剰余金	△6,001	1,579
自己株式	△24	△24
株主資本合計	991,709	999,290
純資産合計	991,709	999,290
負債純資産合計	1,665,355	1,670,292

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	405,840	1,216,898
売上原価	362,296	1,110,127
売上総利益	43,543	106,770
販売費及び一般管理費	63,243	101,840
営業利益又は営業損失(△)	△19,699	4,930
営業外収益		
受取利息	12	12
受取配当金	254	-
為替差益	-	6,404
受取出向料	-	2,220
債務勘定整理益	-	1,290
雑収入	339	540
営業外収益合計	606	10,468
営業外費用		
支払利息	138	644
為替差損	813	-
雑損失	-	19
営業外費用合計	952	663
経常利益又は経常損失(△)	△20,045	14,735
特別利益		
貸倒引当金戻入額	50	35
特別利益合計	50	35
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△19,995	14,770
法人税、住民税及び事業税	897	8,299
法人税等調整額	△93	△1,110
法人税等合計	804	7,189
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△20,799	7,580
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△20,799	7,580

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△20,799	7,580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△198	—
繰延ヘッジ損益	△45	—
その他の包括利益合計	△243	—
四半期包括利益	△21,042	7,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△21,042	7,580
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	メモリ製品製造 販売事業	ウェブソリュー ション事業	コンテンツ 事業	小計		
売上高						
外部顧客へ売上高	404,092	1,747	—	405,840	—	405,840
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	404,092	1,747	—	405,840	—	405,840
セグメント損失(△)	△16,651	△3,048	—	△19,699	—	△19,699

(注) セグメント損失は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	メモリ製品製造 販売事業	ウェブソリュー ション事業	コンテンツ 事業	小計		
売上高						
外部顧客へ売上高	1,088,350	6,331	122,216	1,216,898	—	1,216,898
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,088,350	6,331	122,216	1,216,898	—	1,216,898
セグメント利益又は セグメント損失(△)	4,121	△3,173	3,082	4,030	900	4,930

(注) 1. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益の調整額900千円には、セグメント間取引900千円が含まれております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは平成25年3月期までは「メモリ製品製造販売事業」のみの単一セグメントでありましたが、前第1四半期連結会計期間に当社100%出資で株式会社エッジクルーを設立し連結対象にしたことに伴い「ハードウェアインテグレーション事業」「ウェブソリューション事業」を新たに報告セグメントといたしました。

前第2四半期連結会計期間において、「ハードウェアインテグレーション事業」と「ウェブソリューション事業」を一体化しての事業展開および社内管理に変更したことにより、報告セグメントも同様に一体化することとし、前第2四半期連結会計期間では、「ウェブソリューション事業」として統合し、「メモリ製品製造販売事業」「ウェブソリューション事業」の二つの報告セグメントといたしました。

また、前第3四半期連結会計期間に株式会社ティームエンタテインメントを買収いたしました。これに伴い、前第3四半期連結会計期間以降は、「メモリ製品製造販売事業」「ウェブソリューション事業」「コンテンツ事業」の三つの報告セグメントとしております。

なお、当第1四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度の第1四半期連結累計期間に開示した報告セグメントとの間に相違が見られます。